

千葉市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略(2018改訂版)(案)に 対する意見の概要と市の考え方

■人口ビジョン

No.	(案)該当箇所	意見の概要	市の考え方	修正
1	全般	人口政策の見通しの立て方によって、国家建設の方向や少子高齢化・障害者等への対応が異なるので、人口動態の分析が大変重要である。	人口動態の分析は、まちづくりを進めていく上で重要だと考えています。 将来人口推計については、今後も国勢調査の結果を踏まえ適切に見直すとともに、その他各種統計データの更新に基づく地域経済の分析等と併せて、将来の政策立案に役立てていきます。	-

■総合戦略

No.	(案)該当箇所	意見の概要	市の考え方	修正
2	基本目標・KPI	一部の指標を見ると、目標値が「増を目指す」など定性的な表現になっている。 市の取組みの成果や進捗状況を測るものであることから、できるだけ具体的な数値目標をしっかりと定めた方が良いのではないかと。	ご意見いただいた内容を踏まえ、可能な限り2020年度の数値目標を設定します。 [修正後] ・救命講習受講者対人口年間普及率 「政令市中1位」⇒「4.2%」 ・事業者向け行政手続の改善数 「増を目指す」⇒「4件」 ・パラスポーツへの関心がある人の割合 「増を目指す」⇒「85.0%」	○
3	重点戦略2 施策(1)	今年開通した外環道(三郷南IC～市川市高谷JCT)では、沿線のインターチェンジ付近に物流拠点の開発が進んでいるため、千葉市内においてもインターチェンジ付近に新たな物流拠点を開発し、企業を誘致するのが良いのではないかと。[P.111]	ご意見を踏まえ、「重点戦略2(1)企業立地の一層の促進と、競争力のある産業集積の形成」に記載のある産業用地に関する文章を修正します。 [修正前] 新たな産業用地の確保に向けた検討を進めるほか、市内の各地域の特性や集積動向、現在の企業立地促進補助制度により立地した企業の状況や課題などを十分検証したうえで、今後進展が見込まれる産業や地域へ集中的に投資を行う。 [修正後] インターチェンジ周辺(千葉北、武石など)を主な候補地として新たな産業用地の確保に向けた調査・検討を進めるほか、市内の各地域の特性や集積動向、現在の企業立地促進補助制度により立地した企業の状況や課題などを十分検証したうえで、今後進展が見込まれる産業や地域へ集中的に投資を行う。	○
4	重点戦略5 施策(1)	公共施設の見直しについて記載がありますが、災害時の避難所としての機能を十分に発揮できるよう災害時でも稼働し続ける分散型電源等の設置など、千葉市国土強靱化地域計画を踏まえ、災害対策の視点を追加した方が良いのではないかと。[P.135]	本戦略は、人口減少の克服と地域の活性化を目的に取りまとめたものです。 避難所における電源の確保等については、千葉市国土強靱化地域計画や千葉市地域防災計画に基づき、引き続き対策を推進していきます。	-
5	重点戦略5 施策(2)	高齢者や障害のある人など、全ての人の移動の円滑化を図るため、連続的なバリアフリー整備を進めると記載がありますが、ハード面の整備だけではなく、市民が積極的にサポートするようなソフト面の対策も追加した方が良いのではないかと。[P.138]	ご意見を踏まえ、文章を修正します。 [修正前] 高齢者や障害のある人など、全ての人の移動の円滑化を図るため、鉄道駅から主要施設までの経路など、まちなかの連続的なバリアフリー整備を進めるとともに、様々な主体と連携しながら新たなバリアフリー基本構想を策定する。 [修正後] 高齢者や障害のある人など、全ての人の移動の円滑化を図るため、鉄道駅から主要施設までの経路など、まちなかの連続的なバリアフリー整備や市民のバリアフリーに対する意識向上を図る取組みを推進するとともに、様々な主体と連携しながら新たなバリアフリー基本構想を策定する。	○
6	重点戦略7 施策(2)	東京2020大会後のレガシーとして、障害のある人もない人も共に交流できるまちとなるよう取組みを進めていくと記載がありますが、共生社会の実現に向けて、さらに、性別、年齢、国籍など多様性のある表現を追加した方が良いのではないかと。[P.155]	ご意見を踏まえ、文章を追加します。 なお、本施策は主にパラリンピックを通じての取組みを抽出しているため、オリパラ全体に関連する「重点戦略7(1)有形、無形の「レガシー」の、未来への承継」に記載します。 [追加文] 東京2020大会の開催を契機として、障害の有無や、国籍、性別、性的少数者(LGBT)などの多様性を理解し尊重することができる共生社会の実現を目指していく。	○

意見提出者数	4
意見数	6